

エキシマレーザー治療的角膜切除術の手術成績のレトロスペクティブ調査

1. 研究の対象

2005年1月～2025年1月に当院および南青山アイクリニックでエキシマレーザー治療的角膜切除術（phototherapeutic keratectomy = PTK）を受けられた方。

2. 研究目的・方法

角膜混濁に対する PTK はすでに確立した治療法として、保険収載もされている。しかし、PTK 後に角膜混濁は減るものの、矯正視力が低下する症例があったり、術後に遠視化が強く起こる症例があったりする、など問題点も依然として指摘されている。また術前の屈折状態に応じて遠視矯正 photorefractive keratectomy (HPRK) や近視矯正 PRK (MPRK) を PTK と同時に行うことで PTK 術後屈折状態をコントロールすることが可能であると考えられるが、こうした点の検討はほとんどされていない。本研究の目的は、角膜混濁に対する PTK および HPRK や MPRK の効果と安全性を検討する事である。

研究方法は、カルテを後方視的に調査することで行う。

研究期間は本研究が井上眼科病院倫理審査委員に承認された日から2027年12月までを予定している。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

カルテ番号、年齢、性別、手術前と術後1, 3, 6か月における、視力、屈折などの検査結果を対象とする。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

連絡先担当者および研究責任者：

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4 - 3

電話：03-3295-0911（月曜日～土曜日 9：00～16：00）

研究責任者：お茶の水・井上眼科クリニック 院長 天野史郎

共同研究者：南青山アイクリニック 院長 戸田郁子

-----以上